

2026年度

第1回大阪陸上競技記録会

コード
26270050

日時 2026年4月5日(日) 10:00 競技開始

場所 万博記念競技場(コードNo.272040)

主催 公益財団法人 大阪陸上競技協会

競技順序

開門時刻 8:00

〈トラック競技〉

〈フィールド競技〉

跳躍競技

時刻	種別	種目	組	人数	時刻	種別	種目	人数
10:00	女子高校	3000m	1組	13人	10:30	男子高校	走高跳	15人
10:20	男子高校	200m	1~6組	136人		女子高校	三段跳	7人
10:35			7~12組					
10:50	13~17組							
11:00	女子高校	200m	1~5組	38人	12:30	男子高校	三段跳	8人
11:20	男子高校	400mH	1~3組	20人				
11:40	女子高校	400mH	1~2組	9人	投てき競技			
11:55	男子高校	800m	1~5組	80人	10:00	男子高校	砲丸投	14人
12:15			6~10組		女子高校	3人		
12:35	女子高校	800m	1~6組	46人	12:00	男子高校	やり投	19人
13:10	男子高校	5000m	1組	59人		女子高校		11人
13:35			2組					

プログラム記載の個人情報(氏名、クラブ名、学校名など)は、この大会の他には、新聞及びインターネット大阪陸上競技協会ホームページに記載されますが、本大会関係以外には一切使用されません。

競技注意事項

1. 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

種目	靴底最大の厚さ	要件・備考
トラック種目・ハードル種目・障害物競走	20 mm スパイクシューズ または ノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じとする。
フィールド種目	20 mm	全跳躍種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない（前足の中心は、靴の内部の長さの75%にある靴の中心点。踵の中心は、靴の内部の長さの12%にある靴の中心点）。
道路競技（競走、競歩）	40 mm	

2. 更衣について

- ① 競技者の更衣用として、男女更衣室を開放する。
- ② 更衣のみに使用し、更衣室内に荷物を置いたままにしないこと。

3. 練習について

- ① トラック内での練習は競技開始時刻の30分前まで（9時30分）とする。使用するレーンについては競技役員の指示に従うこと。
- ② それ以降のウォーミングアップ等はサブグラウンドで行うこと。

4. 招集について

- ① 招集場所は室内練習場とする。
- ② 招集開始時刻（点呼開始）及び招集完了時刻（移動開始）は競技開始時刻を基準とし、以下のとおりとする。
【トラック種目】 競技開始時刻の30分前開始 20分前完了。
【フィールド種目】 競技開始時刻50分前開始 40分前完了。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。
- ④ 競技者は、スタートリストに記載されたアスリートビブナンバーで出場すること。変更はできない。
- ⑤ 競技者は、招集開始時刻に確認を受けること。その際、アスリートビブス・スパイクの点検を受けて、そのまま待機し、招集完了時刻に競技役員の指示により移動する。
- ⑥ 代理点呼は認めない。但し、多種目を同時に兼ねて出場する競技者は、「多種目同時出場届」を競技者係へ提出すること。用紙は招集場所に用意する。
- ⑦ 欠場する競技者は欠場届を室内練習場の競技者係に事前に提出すること。

5. 競技について

- ① トラック競技の出場者は室内練習場でシール付き腰ナンバー標識を受け取り、右腰に確実に貼りつけること。
- ② 男子5000m・女子3000mはグループスタートで行う。尚、男子5000mは19分で、女子3000mは12分で次の周回に入ることはいできない。
- ③ スパイクピンの長さは9mm以内とする。（走高跳は12mm）
- ④ 走高跳以外の跳躍種目は3回の試技とし、トップ8は行わない。
- ⑤ 走高跳 バーの上げ方

男子	練1.55 1.60-1.65-1.70-1.75-1.80-1.85-1.90-1.93 あと3cmずつ
----	---

練習の際のバーの高さは、安全のために審判長判断で変更する場合がある。

- ⑥ 三段跳の踏切板は砂場から男11m、女9mとする。
- ⑦ 競技エリア内に通信機器（携帯電話、タブレット等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んではいならない。ただし、上記の機種で撮影された動画をコーチングエリアから受け取り見ことはできる。スタンドからのその機種の受け取りは、定められたエリアで大阪陸協が用意する袋やロープ（ヒモ）等を使用すること。そのエリアは当日明示し、袋とロープ（ヒモ）等はその場に設置します。そのエリアから袋などを下す際は、渡す側、渡される側も周囲に十分注意すること。

6. 免責事項について

- ① 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わないので、各自傷害保険等に加入しておくこと。

7. その他

- ① トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、競技場内のバックスタンド前を通過してスタート地点に帰ること。
- ② 記録は、電光掲示板およびWEBページ(大阪陸協ホームページ)で確認すること。記録ボードは設置しない。
- ③ 出入口は、1F正面玄関、2F正面とする。
- ④ 正面玄関ホール附近および室内練習場での場所取りをしないこと。
- ⑤ ごみ等は必ず持ち帰ること。
- ⑥ アスリートビブスがない場合、番号布を販売（税込220円）するので、各自で作成すること。
- ⑦ スタートリスト記載もれや訂正は大会本部まで申し出ること。
- ⑧ 盗難が多発しているため貴重品は各自で保管するなど持ち物の管理には注意すること。